

はぐはぐ Cafe 通信

子育て支援はぐはぐ そのままでいいよ

Vol.17

2021年7月14日発行
<http://hagu-hagu.com>

発行者/NPO法人 子育て支援はぐはぐ そのままでいいよ事務局 〒920-0955 石川県金沢市土清水2丁目396番 TEL 070-6559-9557 FAX 076-229-3713

「私たちに何ができるのでしょうか」

まもなくコロナ禍が始まって2年目の盛夏を迎えます。コロナの流行が始まってすぐは、子どもへの虐待相談対応件数、DV件数ともに落ち着いていましたが、その後は徐々に増え続け、速報値では20万件にせまる勢いです。

令和の私たちの生活はこんなにも豊かなのに、子どもや若者が生きることを窮屈に感じている事実があり、そこにはやはり社会の歪みが見え隠れしています。

生きるのが辛くなった子どもたちは活動を停止してしま

います。そして、将来の希望を持ってなくなった若者たちは自ら死を選びます。それはとても残念な事です。漠然とした不安を抱える現代の人々に私たちは何ができるのでしょうか。支援を続ける中でいつもそう私たち自身に問いかけています。凡庸な頭では答えはなかなか見つかりませんが、今は私たちにできることを粛々とやっつけていこうと、まるでスローガンのように仲間たちで声を掛け合っています。

2021年コロナ禍のこの半年も、人数を制限したりオンライン開催にしたりと工夫をこらしながら、仲間たちと地道な活動を続けて参りました。ここにご報告をさせていただきます。

困窮する子育て家庭への食料支援

はぐはぐフリーマーケット

《自主事業 金沢市補助事業》

令和2年4月から開始した困窮者の食料配布事業ですが、支援する家庭も増え、食料の調達がなかなか大変なのですが、フードバンクを利用させていただいたり、市の助成金や皆様からいただいた寄付でなんとかやっています。冬には、母子家庭を対象に暖かい汁物を用意しミニ食堂を開きました。感染予防策を徹底し、食品を箱詰します。スタッフはその箱を携え、はぐマーに来られない各家庭へと届けていますが、箱を届ける際には、困り事を聞くなど話し相手になり、家族の様子を見守っています。



金沢市子ども見守り支援事業

《金沢市(子育て支援)補助事業》



令和2年9月より金沢市児童家庭相談室や児童相談所から依頼を受け、困窮家庭へ月2回程度の食材支援をしています。食材提供を通して、困窮する家庭や支援を要する家庭等に寄り添い、そうした家庭の親子の孤立を防ぐことを目的としています。

親御さんとの信頼関係を気付くことを大切にし、関係機関担当者へは定期的に現状を報告。特変があった際は速やかに連絡しています。各家庭に寄り添った支援を行なうため、緊急時には週に一度の訪問になることもあります。家族構成や家事能力に合わせた食品選び、また家族の趣向や好みの食品を揃えたりとスタッフの手間も暇もかかりますが、相手を気遣う気持ちが通じた時に、始めて信頼を得ることができ、血の通った支援ができると信じています。

ペアレンティグ学習会

令和3年1月24日(日)、3月21日(日)

子育て中の養育者および子育て相談に従事する者を対象に「オーダーメイド・ペアレンティグ」の入門学習会(午前)と、子育て相談従事者を対象に事例検討を中心とした研修会「子育て相談グループスーパービジョン研修会」(午後)を開催しました。講師はいずれも臨床心理士の三輪孝次氏です。

午後からの研修会では、医師、保育士、市町子ども相談担当者など、異なる分野で専門性を持つ方が参加申し込みされたことから「オーダーメイド・ペアレンティグ」に関する講義

だけでなく、子育て相談の基本姿勢や技法についての講義も行なわれました。子育て相談従事者が定期的実践を検討できる場を提供することは、地域の子育て支援の貢献度を高められます。最近では、以前参加した養育者が友人などを誘って参加されるなど、口コミでの広がりも感じています。



はぐはぐ子育てサロン

感染予防を徹底して子育て塾を実施しました。秋頃からは月を追う事に参加者も増え、終盤では毎回キャンセル待ちができるほどになりました。母親たちは長引く自粛生活に疲れ、イライラが溜まっていく様子が見受けられましたが、人と話を

したり、子どもを見てもらったりすることで気持ちが楽になっていくようでした。

なお、予定していた4/22のはぐカフェと5/19の子育て塾は、コロナの感染拡大に伴いやむなく中止をいたしました。

【第52回】はぐはぐ子育て塾《金沢市委託事業》

令和3年1月19日(火) 10:30～11:30 ❖参加人数 親子12組 22名

テーマ「子どもの安全基地」～愛着の大切さ～

場所：いしかわ子ども交流センター 大研修室

講師 沼田 直子さん(加賀市保健福祉センター 所長)

小児科医として長年臨床に関わり、その後行政の母子保健では特に母子の関係性をテーマに取り組んで来られた沼田先生は、いつもママたちを応援されています。

今回は、その沼田先生に母親と子どもとの愛着形成がいかに大切かをお話していただきました。

出産後、自分が赤ちゃんの時、どんなふう育てられたかを母親は我が子の育児を通して問いかけます。子どもを自分の鏡のように見て、母親が自分自身を見つめ直すきっかけに



なったり、生き直すきっかけになることもあります。親子の関係性を良く保つためには、子どもの安全基地を守ることです。安全基地

が守られてこそ、子どもの自立性、自発性が育っていくとのお話をしてくださいました。

「何度傷ついても、膨らむ柔らかい心の子に育てることが大切」というお話が印象に残りました。

自らの子育てのお話やママ達からの相談にも相談に乗っていただき、寒い冬の日でしたが、温かな明かりが灯る一時でした。

【第53回】はぐはぐ子育て塾《金沢市委託事業》

令和3年3月19日(金) 10:30～11:30 ❖参加人数 親子10組 20名

テーマ「産後の身体のケア」～産後の身体の不調に寄り添います～

場所：いしかわ子ども交流センター 大研修室

講師 細川 元美さん(助産師、鍼灸マッサージ、はぐはぐスタッフ)

塚脇 京子さん(助産師、はぐはぐスタッフ)

長引く自粛生活での子育てで、ストレスを抱いたり、また身体が不調なママのために、助産師で鍼灸間マッサージ師の資格を持つスタッフに、ツボを使った肩こりケアや骨盤のセルフケアを教えてくださいました。今回は、各自が家庭でも気軽にできるように、ペットボトルを利用したケアのやり方をママたちに伝授。実際にやっていただき、コリがほぐれるのを実感していただきました。身体も心も軽くなったママたちはみなさん笑顔で帰って行かれました。



はぐCafe レポート

(金沢市委託事業)

この半年間、コロナの影響ではぐカフェを中止しなければならなかったことが何回もありました。

そんな中、クリスマスの時ははぐカフェは開催でき、対面でママさんや赤ちゃんと同じ時間を過ごす事ができました。スタッフがトーンチャイムで

「きよしこの夜」を奏でたときは、コロナの大変な時だからこそなのか、なんだかジーンとしてしまいました。最後に皆で輪になって、「この1年の自分を褒めましょう!」と、お一人お一人順番に話して頂いたとき、目に涙をためて話すママさんもいました。

ただでさえ手探りの育児が、コロナでますます大変になって、ママたちは心が不安と心配でパンパンになっているのではないのでしょうか。



ママたちはどうしているのかしらと
スタッフはいつも心を寄せています。

やむを得ずはぐカフェの中止を伝える時に「何か子育てに関して、心配な事がある時や、悩んでしまっ
てどうしようもない時は遠慮なく連絡
くださいね」と伝えたら、あるママ

さんから「何かあった時に、連絡できるんだ!」と思うだけで頑張れる気がします」とメッセージを頂きました。

コロナ禍でなかなか集まれないけれど、はぐカフェの存在が、少しでもママさんたちの心の支えになれているのかも!と思えた嬉しいメッセージでした。コロナ禍の中、育児を頑張っている皆さんに心からのエールを送りたいです。そして、またママさんと赤ちゃんの笑顔に会えることを楽しみにしています。

児童養護施設の子どもたちへの寄り添いボランティア 《自主事業》



毎週水曜日、聖霊愛児園（児童養護施設）で小学生や中学生を対象に学習ボランティア（以下、学ボラ）を行っています。新型コロナウイルスの影響で、また5月の始めから6月までお休みとなってしまいました。その間には中間テストがあったので、スタッフがプリントを渡したり電話をかけたりして対応しました。

実は、私たちにとって3月に大変嬉しい出来事がありました。学ボラスタッフが小学生の頃からずっと勉強をみてきた子が、見事希望の高校に合格したのです。受験が近づいてからは、

週に何度も園に通い勉強を見てきました。発表当日は本人と同様にハラハドキドキしていたようですが、合格を知った時は本当に感慨深かったようでとても喜んでいました。施設で暮らす子どもたちにとっても、教育はとても大切なのですが、早くから進学や進路をあきらめてしまう子もいます。今回、学ボラスタッフが寄り添い、一緒に頑張ることができ、結果に繋がったことは本当に良かったと思います。今年度から学ボラスタッフも増えるので、寄り添う時間を増やし、勉強にも力を入れていきたいと思っています。

子どもの夢応援プロジェクト 《自主事業》

*このプロジェクトは、皆様からのご厚意やご寄付、そしてサポーター会費で実施しています。

児童養護施設に暮らす子どもたちの小さな夢を叶える取り組みをしています。夢や希望を諦めないで前向きに生きてほしいと

いう願いをこめてのプロジェクトです。冬から春はコロナの感染が広がり残念ながら開催できませんでした。



働くママの支援事業 《石川県委託事業》

育休からの職場復帰・再就職支援セミナー



昨年コロナ感染拡大の影響で、オンラインでの開催となっています。令和3年（水曜日）2/17, 24, 3/3, 3/10の4日間、オンライン会議Zoomシステムを使ってセミナーを行ない、受講者はそれぞれの家からご参加いただきました。

セミナー中、大雪に見舞われましたが、天候に杞憂することがなく開催でき、また、リモート開催のため遠隔地からの参加も可能になるなど、幼いお子様をお持ちの親御さんにとってはオンラインならではのメリットも多くみられました。冬コースでは参加者も慣れてきたこともあり、活発な意見交



換も行なわれ実りのある話し合いになりました。第3回では、先輩ワーキングマザーから具体的な生活や仕事の仕方など聞くことができ、例年通り大変役に立つ内容で、参加者も満足されていました。アンケートを見ると、各自で学びや気付き

があったようです。セミナー参加当初は、復帰後の仕事の悩みや夫婦の関係性、そして子どものしつけの悩みなど様々な不安をお持ちでしたが、終了時には悩みを解決できる手段を得て、それぞれが職場復帰に向けて前向きになっていったようです。

ワーママを楽しむ会 ～家族の幸せのために～

働くママ（時にはパパも）同士で悩みを共有し、解決のヒントをみつけたり学んだりする会です。参加したワーママ（ワーキングマザー）たちに「月曜日からまた元気に頑張ろう」と思っていただけのように、2ヶ月毎に開催しています。

いずれも日曜日AM9:00～AM11:30

冬から春にかけてのワーママの会も新型コロナウイルス感染防止のため、全てをオンライン会議システムZoomで開催しました。

1/17の会では、ワーママのお楽しみ企画として、オンラインでヨガ教室を開催しました。この会では講師の能登美和子さんを会場（いしかわ子ども交流センター）にお招きし、マインドフルネスヨガの話の伺った後、実際にヨガをしていただきました。参加者は画面を通して一緒にポーズをとって心身ともにリフレッシュできたようです。ヨガ終了後、グループに分かれておしゃべりを楽しんでいただきました。画面を通してですが、終わった後のママたちの笑顔は格別でした。



3/14は、パパも参加できる会として「パパとママのお茶の間サロン」を開催し、それぞれの家族の幸せのカタチをテーマで話し合いました。パパの参加はまだ少ないのですが、男性側からの視点や気持ちを知ることができたり、夫婦以外で話すことで、お互いの立場の理解にもつながるなど、気づきのある有意義な時間を過ごせたようでした。それぞれの家族にはそれぞれの家族の幸せのカタチがあります。正解がないこと前提として、参加者にとっては、自分の家族のささやかでも大切なものを見つけるきっかけになったようです。

夫婦支援 (GAPS) (全12回)

「しあわせ家族のコミュニケーションレシピ」セミナー概説書作成作業

コロナ禍において、大勢が集まるセミナーの開催は厳しく、昨年から実施できておりませんが、中断していたセミナーの概説書(マニュアル)作りが再開されました。6月現在、ほぼ完成いたしましたので、今年度中には皆さまにお披露目できるのではと考えております。乞うご期待です!



その他事業のご報告

- ◎ よーふー子どもカフェ 再開未定
* 困窮家庭の支援は継続中
- ◎ 高校生と親子の交流事業 再開未定

はぐはぐ活動日誌

Vol.17
12月~6月

- ・ Vol.16 会報発行 (1月)
- ・ フードバンク、他団体への食品調達、野菜の買い付け
- ・ ワーママを楽しむ会スタッフオンライン会議 (4月)
- ・ 育休セミナースタッフオンライン会議 (4月)
- ・ 見守り支援事業スタッフオンライン等会議 (全6回)
- ・ 困窮家庭への食糧支援 (16家庭)
- ・ はぐはぐ例会 (1月~6月まで計6回)
- ・ 100人会議に出席、子育て支援を紹介 (12月)
- ・ 「子どもを守る地域ネットワーク研修会」にて講演 (3/1)
主催:津幡町健康福祉部子育て支援課
テーマ「親支援について考える」~子どもの成長を支える身近な存在として効果的な関わり方とは~
- ・ 「フードバンクフォーラム2021」にて困窮支援の実態を報告
主催:(特非)いしかわフードバンク・ネット(1/16)

- ・ 湖南学院院生を対象に、金沢学院大学 前川教授と共に「自分の気持ちの伝え方」のテーマでコミュニケーションセミナーを実施 (3/17)
- ・ 金沢情報「家事シェア」取材 (4月、6月)
- ・ 金沢子ども見守り支援事業意見交換会に出席 (5/25)
- ・ 金沢市子ども生活応援プラン(仮称)策定委員会に出席 (5/31)
- ・ 金沢市家庭教育推進懇話会に出席 (6/4)

◎通常総会のご報告

はぐはぐ令和3年度通常総会を5月8日(土)金沢市富樫教育プラザとオンラインでのハイブリッド方式で開催いたしました。令和2年度の事業報告、令和3年度事業計画などをご審議いただき承認いただきましたことをここに報告させていただきます。

はぐはぐ活動スケジュール(令和3年7月~令和3年10月まで)

- はぐはぐ子育て塾 / 毎奇数月19日(7月のみ18日)
- 聖霊愛児園学習ボランティア / 毎週水曜日、土曜日
- はぐカフェ / 偶数月 第4木曜

日程	活動内容	場所
7/9・8/6・9/10・10/8・11/1・12/10	はぐはぐフリーマーケット(子育て中の困窮家庭への食料支援) いずれも金曜日開催	はぐはぐ
7月18日(日) 10:30~11:30	第54回子育て塾「子育ての道しるべ」 ~ペアレントングプログラム~ 講師:三輪孝次氏(臨床心理士) 金沢市委託事業	いしかわ子ども交流センター
9月19日(日) 10:30~11:30	第55回子育て塾「みんなの家事シェア」 講師:水島栄美子(はぐはぐ理事長、夫婦支援、子育て相談員) 金沢市委託事業	いしかわ子ども交流センター
6月24日(木) 8月26日(木) 10月28日(木) 10:30~12:00	はぐカフェ「みんなでおしゃべり」 はぐカフェ「内川スポーツ広場で夏遊び」 はぐカフェ「みんなでおしゃべり」 (参加費)200円(親子のお菓子と飲物付き) 金沢市委託事業	いしかわ子ども交流センター 内川スポーツ広場
7月11日(日) 9:30~11:30	ワーママを楽しむ会「ワイワイおしゃべり会」対象:ママ テーマに分かれてのおしゃべり会 石川县委託事業	オンライン開催
9月12日(日) 9:30~11:30	ワーママを楽しむ会「パパとママが学ぶ会」対象:パパ・ママ テーマ「本との出会い 本のある暮らし」新泉図書館の紹介など 講師:県立図書館 職員 石川县委託事業	オンライン開催
9月8日(水)~ 9月22日(水)	育休からの職場復帰・再就職支援セミナー(毎週水曜日全3回) 講師:水島栄美子(はぐはぐ理事長) 石川县委託事業	オンライン開催
10月31日(日) 11月28日(日)	「プレパパ & ルーキーパパ セミナー」入門編 「プレパパ & ルーキーパパ セミナー」応用編 講師:水島栄美子(はぐはぐ理事長) 石川县委託事業	オンライン開催

令和3年(2021年)度 サポーター会員募集のお知らせ

はぐはぐは、ボランティアで成り立っている団体です。主な活動は皆様の寄付及び会費でまかなっております。

最近では、従来の活動費に加え困窮家庭への食料支援、また子どもの夢応援事業費用などが増えております。

はぐはぐの活動の趣旨にご賛同いただけるサポーター会員を募集しています。また随時ご寄付も受け承っております。子どもたちにとって希望ある未来のために、温かいご支援を何卒よろしくお願いいたします。

また、併せてお米など食料の支援も随時、承っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

[会員の特典] ●会報の発行 ●はぐはぐ各種事業の参画

[年会費] ●サポーター会員(個人).....1口 3,000円

●サポーター会員(法人、団体)・1口10,000円

【サポーター会員会費・寄付振込先】

郵便局 口座番号 00790-9-76858

NPO法人 子育て支援はぐはぐ そのままでいいよ

*恐れ入りますが、お手料は本人様のご負担をお願い致します。

*ご寄付の方は振込用紙通信欄に「寄付」とご記入をお願いいたします。支援金は、親支援・子どもたちへの直接的な支援費用や会の運営費用等に充当させていただきます。

■お問い合わせ TEL 070-6559-9557 (はぐはぐ事務局)

Email:info@hagu-hagu.com

